

会議録（要点筆記）

会議名	第4回 米原市総合教育会議
開催日時	平成28年2月19日（金） 15時30分～16時50分
開催場所	米原市民交流プラザ 2階 研修室
出席者および欠席者	<p>構成員</p> <p>平尾道雄市長、山本太一教育長、稲村邦夫教育委員長、河居郁夫教育委員、小路芙美恵教育委員</p> <p>事務局</p> <p>田中博之教育部長、岩山光一こども未来部長、安食富美子こども未来部次長、岡田克美学校教育課長、仲谷良徳教育総務課長、山田英喜政策推進部理事、小寺真司政策推進課長補佐ほか担当職員2人</p> <p>欠席者</p> <p>本庄通子教育委員</p> <p>傍聴者</p> <p>なし</p>
議題	
審議経過	<p>事務局</p> <p>市長</p> <p>1 開会 （事務局から開会あいさつ）</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>・昨日、今日 25 日開会の米原市議会の第 1 回定例会を直前にしまして、議会の全員協議会が開かれました。そこで平成 28 年度の市政方針の概要を発表させていただきました。</p> <p>教育分野では、少子化が刻々と進んでいる中で、私は小規模校になっていくことは必ずしも後ろ向きではない、否定的ではないと考えています。小規模校だからこそ一人一人が大事にされる、子どもに寄り添ったきめ細やかな教育、学校と家庭、地域が力を合わせる契機になるのではないかと。子どもたちの成長を社会全体で応援していく良さが、もう一度問い直されて実現していくのではないかと話をさせていただきました。</p> <p>平成 28 年度の教育関連の予算概要を説明させていただきます。</p> <p>ひとつは小中学校できめ細やかで質の高い教育を行っていく独自の取り組みとして引き続き、講師を任用して、すべての小中学校で 35 人学級の指導充実を図っていきたい。また、教育の質、指導の中身において、電子黒板、デジタル教科書など、ICT 機器を導入した授業を実施していき、子どもたちが自ら進んで学ぼうとする力を教育現場で育成していきたい。地域と学校をつないでいくことは大事なことであり、地域と学校を支援すること、地域に根差した教育を行っていく「学校支援地域本部事業」を米原中学校区・伊吹山中学校区に拡大し、特色ある学校づくりを推進していきたい。さらに、合同事業、合同行事を</p>

	<p>行うことで、学校間の交流行事、小中連携の教育推進事業を展開し、米原ならではの小規模校における交流事業の推進を行っていききたい。安全で快適な学校整備については、大東中のトイレの洋式化、柏原中学校のエレベーターの設置、大原小学校、河南小学校のグラウンド整備設計を進めます。また、学校の長寿命化整備計画の策定を行っていききたい。他には生涯学習、スポーツ、文化振興の面で、健康とスポーツの両面を取り組んでいきます。昨年からノルディックウォークの普及・推進、そして米原の歴史や自然を学ぶこと、ふるさとに誇りを持つこと、これらを子どもたちの教育の現場にしっかりと作っていく、歴史遺産を活用した事業にも積極的に取り組んでいきます。このようにして、米原市に住んでよかったと思えるようなまちづくりを教育、文化、スポーツ、様々な地域振興の中で進めていききたいと思います。教育委員の皆さまからの御指導を賜りたいと考えています。</p> <p>前回は、米原市教育大綱の骨子案を事務局から提案し、熱心に議論いただきました。本日は、米原市教育の基本理念および基本目標について、事務局でまとめたものを協議いただきたい。皆様から忌憚のない御意見を賜りたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。</p>
事務局	<p>3 協議事項</p> <p>(1) 米原市教育大綱（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料1に基づき、米原市教育大綱の案について説明した。 1 教育の基本理念（案） <ul style="list-style-type: none"> 「ともに学び、ともに育つ、学びあいのまち まいばら」 2 基本目標（案） <ul style="list-style-type: none"> ①地域の特色を生かし、心豊かでたくましく生きる力を育む教育を実現します。 ②学校、家庭、地域がつながり、連携、協働して、地域全体の教育力の向上を目指します。 ③安心・安全で質の高い教育が受けられる環境をつくります。 ④生涯にわたって豊かに学び合い、いきいきと活動できる環境をつくります。 ⑤米原の自然・歴史・文化の保存・活用と地域文化を育みます。
委員	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初の基本理念案のところで2点。「ともに学び、ともに育つ」のところで、短いフレーズと話がありましたが、「ともに」が2回入っているねらいはどこにあるのか。また、「学びあいのまち まいばら」の「あい」がひらがなになっている意味づけは何かあるのか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「ともに」を2回使っているのは、言いやすさ、表現しやすいということ。「あい」をひらがなにしているのは、教育には愛がなければならない、ということ兼ねている。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・甲賀市の教育大綱にも「ともに学び、ともに育つ」というフレーズが入っている。このような言い方はよくする。お互いに学び合っていこうとする意味で「ともに」を2回使っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「あい」をひらがなにしているのは、やわらかくて良いと思う。「まち」をひらがなにしているケースも多いのか。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・そのケースが多い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・基本理念の説明文の「多様な主体が共生できるまちづくり」を「多様な文化が共生できるまちづくり」にした方が良いのではないか。 ・基本目標4の展開の「学び合い育ち合い支え合う教育の推進」で、学び合いの中に、それぞれお互いの良さを認め合いながら、学ぶとか友達の考えを聞き合う等、「学び合い高め合う」教育の推進にした方が、次元が高まるのではないか。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・この時期に総合教育会議をお願いしたのは、教育振興基本計画の審議会の2回目の開催を3月中旬に予定しており、基本理念の案をまとめた上で審議会に提案したいと考えているためであり、基本目標の言葉の表現等は、審議会の中でも議論をいただきたいと考えており、大まかなところをこの会議で了承いただきたい。 <p>基本理念については、教育委員の方々と一緒に奈良で行われた文部科学省の研修会に行ったときに、これからは、何を学んだかよりも、どのように学んだかが大事であるということであり、「ともに学びあう」は非常に大事なポイントであると思う。また、基本目標に人権教育を一つ表に出してもいいのではないか。今の振興計画の中でも人権教育の部分が薄いのではないかと思っている。基本目標に文言として出してはどうか。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・人権という文言は、男女共同参画など意味が広範囲になっており、入れてもいいのではないかと思う。 <p>基本目標3の説明の「教職員の資質、指導力の向上」は、あまりにも漠然としている。「ほうれんそうの徹底」のような、具体的にもっと踏み込んだことを審議会で議論して欲しい。</p> <p>今日の新聞に載っていたが、市予算に子ども関係のものが集中的にみられている。学校関係に力を入れているのを感じている。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・基本理念の「ともに学び、ともに育つ」の「とも」という字に「共」と

<p>市長</p>	<p>「友」の意味が込められているという説明文から、しっかり考えているということが伝わってくる。基本目標の3と4の辺りで、教育環境の整備は、学校施設のみに特化なのか、生涯学習施設はどうかかわからない。教職員も含めて生涯学習でいうと、その指導者も該当するので、指導力の向上はどちらにあたるのか疑問に持ったのではっきりさせた方が良いのでは。それと、「学び合いのまち」というところで、いつからでもスタートができるんだ、という要素も入れたらどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今、地方創生の中で人口減少の問題に取り組んでいるが、私たちは明治以後、戦後の高度成長期で、受験戦争を経験してきた。この時に言われたのが、こんな田舎に留まらず、勉強して良い大学に行って、良い会社に入って、チャンスを手にするには、偏差値を上げるということを教えられた。この背景は「向都離村」という村を離れて都に行け、という社会風潮があった。今でも都市へ行く風潮が続いている。しかし今、地方分権の中で、最近では「田園回帰」といわれている。田舎こそ、人間らしい育みがある。これが「向村離都」である。このことを政治的に言うが、それが全て教育現場に入れなければならないとまでは言わないが、どういう大人を育てようとしているのか。日本の社会規範では、人のため、地域のために貢献しようと学び、そういう大人を育てようとすることを中心に置いておく必要がある。評価を受ける受けまいと、人に寄り添う、人や地域のために尽くす子どもや大人をつくること、自分の生まれた地域を良くしていくんだという志を持つような子どもを育てるんだということを基本理念や基本目標の中に入れて欲しい。案には教育の在り方、教育の環境の整え方、社会とどう向き合うかを学ばそうとしているが、本来教育が持っている、人をどう育てるか、育て方だけではなくて、究極どんな大人、どんな人間を育むべきなのか、その目標を入れて欲しい。単なるふるさと教育ではなく、地域の歴史を学んでどうするのか。綿々と続いている歴史がある郷土で育っていることが、すごいことであると理解し、海外に行っても話ができるような人を育てる。基本理念や基本目標の中に、人や社会に役立つ、ふるさとを耕す人間をつくることをわかりやすく挙げた方が、行政、教育、地域のそれぞれの関わりで共通目標ができていいのではないか。
<p>教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育は人づくりが原点。甲賀市の大綱をみると、「有徳の人づくりをめざす」というテーマがあり、基本方針の中に「たくましい心身と郷土への誇りをもつ人を育てる」という人づくりを前面に出している。教育の原点である人づくりというものを基本理念に入れることについては、考えないといけないのかなと思う。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先般、米原公民館長と話す機会があった。館長は県外から来られた方で、何名かの方に米原はどんなところだと聞いた際に、米原にはいいところ

教育長	<p>がないという回答が多く返ってきたとのこと。外部の人に、米原の良さを伝える必要があると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・醒井の森先生や霊山三蔵、ヒロヤマガタなど有名な人々の話を子どもたちの前ですると、すごい集中をしていた。そういうことをみんなに伝える必要があると思う。 ・大阪にある大空小学校の木村先生の座談会での話では、米原でも地域と学校と共に歩む方針は持っているが、学校のために、地域の人が「してやっている」の気持ちでは育たない。私たちが「できることをやろう」というのと、「してあげる」では広がり全然違う。ボランティア的な奉仕精神が、今後、学校支援地域本部事業を展開する上で大事な心構えだと思う。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・大綱の基本目標、基本理念について、全て網羅していると思うが、どういう大人を育てるのか、人間教育の具体的なイメージまで踏み込んだ方がいいのではないかと。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・県は目指す人間像を3つ掲げている。①自立し、様々な人々や自然と共生できる人、②チャレンジし、新しい時代を切り拓く力を備えた人、③「近江の心」を受け継ぎ、地域社会に貢献できる人。基本目標には「未来を拓く心豊かでたくましい人づくり」があり、目指す教育の姿として、自立と共生に向け、主体性・社会性を育む教育、という表現方法もある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育だけ取り上げたら、米原市の教育の素晴らしいところは、先生が研究熱心であることに尽きる。研究を一生懸命やっていく雰囲気が出てきて、他市には負けないようになってきたということは自信を持って言える。そういう点から大人を含めた目標を掲げるのに、どういう言葉がいいのか、教育振興基本計画の中でも話題にして欲しい。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・県のように理念があって、目指す姿、人づくりを分けて書いてもいいのではないかと。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどの発言にもあったが、生涯を通じて学ぶ。学びは幼・小・中・高・大で止まるのではない。それが基礎にあり、それぞれの道で、学び続けるのが大事で重みがあるのではないかと。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校などでは、人間教育についてどのように行っているのか、事務局で知っているようなことがあれば発言して欲しい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・人に優しく、自分に負けない、というのは必要であり、どこもそういう

	<p>目標を掲げている。お互い目指すところは、豊かな心である。また、目指す集団とは、認めあえる集団であり、自分が大切にされる、人も大切にしていける、ということ、どこも目指している。自尊感情を大切にしている、互いの人権を大切にしている。それらは社会に出てもつながるところがある。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 基本目標の展開に「ふるさと学習の推進」とあるが、教育センターで「私たちの米原市」という冊子を作成し、地域学習を推進している。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと学習や郷土を学ぶ中に、環境、エネルギー、食べ物の面において、都会での生活ではなく、田舎こそ良いのだということを打ち出していくようにしてほしい。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> 単なるふるさと学習の展開だけでなく、そこから米原の良さをお互いに確認できる学習にもっていく。米原ならではの感動体験、体験学習を展開していかなければいけないと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 田舎で住むことはよいという価値観を子どもたちに知らせるべき。米原に帰ってきてもらう、留まってもらう仕組みは戦略として組み込むべきだと思う。小中学校9年間の中に米原イズム、郷土愛を植え込まないといけない。これは学校教育でしかできない戦略である。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの学校で、自然、歴史文化などの体験学習や、地域との関わりではボランティア活動もやっている。机の上の学習だけでなく、体験を通じた学びは行っている。 人づくりでは、お互いに認め合い支え合っていく、お互いを尊重し合うという人権の視点が社会貢献を含めてベースになると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> このような体験学習に予算をもっとつけてほしい。
市長	<ul style="list-style-type: none"> 行政はシステム、仕組みはいろいろ頑張れる。しかし、人をどう変革、育むかは教育の現場でないとできない。 基本理念についていろいろと意見をいただいたが、次回の教育振興基本計画の審議会において、この内容で提案していただいても良いか。
委員	意見なし
教育長	<ul style="list-style-type: none"> 「ともに」については、どの表現がよいか、検討する。
市長	<ul style="list-style-type: none"> 基本目標について議論する期間はあるのか。

教育長	<ul style="list-style-type: none">・はい。まず一番上の基本理念がある程度見えればと考えていた。
事務局	<p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none">・次回は年度が変わってからの開催になる。また調整させていただく。・3月の教育振興基本計画の審議会では、仮の基本理念という形で議論していただく。 <p>5 閉会</p>